

教育機関の国際化対応と半導体人材の育成

半導体関連企業の新規進出・投資の情報を、毎月お届けします。半導体関連企業だけに限らず、併せて他産業・自治体の動きも含め幅広く県内の情報を掲載して参ります。

1 TSMC進出に伴う県内教育機関の動き

公表日	教育機関	内容
2022/6	(一社) 熊本インターナショナルスクール	TSMCの進出に合わせ小学生対象のインターナショナルスクールを開校。新校舎は、東区戸島西4丁目に建設。2023年9月には台湾から来熊したTSMC従業員の子どもたち数十人が加わり、合計180人が新学期を迎えた。
2022/7	九州ルーテル学院	TSMC従業員の子弟らに教育環境を提供すると発表。子弟の受け入れに向け、英語を母国語とする教員を新たに雇用する予定。中国語ができる教員や事務職員のサポート態勢も整える。
2024/1	天草高校	台湾・台中市の静宜大学と提携。両者は生徒の派遣や留学希望者への奨学制度を新設。12月下旬には生徒4人が静宜大を訪れ、英語で研究発表するなどして研修した。静宜大は外国語やコンピューター情報科学など6学部で1万人以上が学ぶ。
2024/1	東海大学	半導体関連企業の集積に伴う農地減少や人材確保といった地域農業への影響を探るため、熊本県内の農業関連団体と東海大が調査研究に当たる新組織を設立する。企業進出による農地の工業化や都市化を見据え、持続可能な農業経営を探る県内初の組織となる。
2022/12		半導体やデータサイエンスに携わる人材育成のため学部に対応する「情報融合学環」、半導体デバイスの製造・評価・開発に携わる人材を育成する「工学部半導体デバイス工学課程」をそれぞれ2024年度に設置すると発表。2024年4月に1期生入学。
2024/1		九州大学と熊本県、熊本大学は、半導体研究の推進や半導体分野における人材育成・確保等について包括的な連携協定を締結。
2024/3		熊本大と東北大は半導体や量子コンピューターなどの研究、教育で連携するための協定を締結。両大学は共同研究を通じて技術者育成の促進を図る。
2024/3		TSMCが熊本での工場建設を決めた後に国内の大学と連携協定を結ぶのはこれが初となる。
2024/4		教育学部付属小中学校に26年4月の開設を目指す「国際クラス」の新校舎を敷地内に建設。外国人の児童生徒を受け入れる。新校舎はとも1学年に1クラスを置く。
2023/9	熊本学園大学	「つくりを学ぶ」「地域・国際経済」をテーマにした専攻「経済データ分析専攻」を新設。2024年6月から新設する。

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)